

登 山

国立花山青少年自然の家

1 活動の概要及びねらい

大自然の中に溶け込んで、自然に親しみ、山についての知識を深め、忍耐力、協同、自然を愛する心情を養います。

2 場所・時間・期間等

コース	距離	標高	時間	期間	標識番号
<small>おおどがもり</small> 大土ヶ森登山	約12.6km	580.3m	5～7時間	4月～	NO.1～13
<small>くりこまやま</small> 栗駒山登山	約50km	1,626m	1日	11月	なし

3 準備

自然の家で貸し出しできる物	利用者で準備する物
地図 シルバーコンパス 熊鈴 無線（無線貸出規約による）	長袖、長ズボン、軍手、帽子、昼食、水筒、救急薬品、 雨具、トランシーバー等

4 実施例

- ① 班編成、人数確認、服装・持ち物点検、健康調査等を行います。
- ② 活動のねらいを確認します。
- ③ コースの概要と注意事項を説明します。
・危険箇所 ・危険な行動 ・危険な動植物 ・自然保護 等
- ④ 団体のねらいや実態に応じて、活動の方法を工夫します。
- ⑤ 自然の愛護、環境保全に努めてください。
・ゴミは山に捨てずに必ず持ち帰る。 ・植物、樹木を採取しない。
- ⑥ 常に参加者の状況について確認しましょう。
- ⑦ それぞれのコースや参加者の健康状況に応じて、適宜休憩をとってください。
- ⑧ 人数確認、健康調査をします。空弁当等のゴミを処分してください。

5 留意点

登山は大自然の中での活動なので、気象や地形など自然現象の影響を受けやすく、これに伴う事故の発生も予想されるので、安全管理について万全を期すため、十分に留意し実施してください(補足資料参照)。

[補足資料]

<事前の準備>

- ① 活動資料を活用し、プログラム担当職員と十分に事前打合せを必ず行い、実地踏査で現地の状況を把握した上で計画を立ててください。
- ② 引率者の役割分担及び児童・生徒・学生等の班編成・係分担を明確にし、協力して安全に実施できるようにしてください。
- ③ 児童・生徒・学生等の健康状態を十分に把握し、参加できない場合、途中で参加を断念する場合については指導者が付き添いの上配慮してください。
- ④ 安全確保のため、装備についての事前指導を徹底してください。

<活動に当たっての配慮事項>

- ① 出発にあたっては、自然の家事務室に報告し、無線機を借りてください。なお、引率者同士の連絡用については携帯電話、トランシーバー等を準備してください。
- ② 活動は団体の責任において実施します。気象予報に留意し、天候の悪化が予想される場合は、自然の家職員と話し合い、思い切って中止しましょう。
- ③ 児童・生徒・学生等の健康状態及び装備の点検を必ず行ってください。
- ④ 出発後、天候の急変により雷雨等がひどくなった場合は、状況に応じて避難を適切に行うとともに、途中からでも引き返してください。※雷情報等は緊急無線機で連絡します。
- ⑤ 引率者は、先頭・中間・後尾に位置し、児童・生徒の人数や健康状態の把握に努め、疲労した参加者がいる時は適切な看護を行ってください。なお、事故発生の場合は、速やかに無線機による通報及び適切な応急処置をしてください。
- ⑥ 持久力を持たせるために、同一歩調で歩くことに留意しましょう。特に下山の時は、歩調や隊列が乱れやすいので注意してください。
- ⑦ コースの登り・下りでは落石のないように十分に注意してください。後からの登山者に向かって岩石を落とさないようにしてください。
- ⑧ 登山コースは、国有林や民有林であるので、火気には十分に注意し植物等の採取はしないでください。
- ⑨ 弁当等の包装紙は全て自然の家に持ち帰り、指定の場所に捨ててください。
- ⑩ 熊、マムシ、ハチ等には服装、装備を適切にし、注意してください。

<事後指導>

- ① 登山終了後は直ちに自然の家事務室に報告してください。
- ② 人数・健康状態を点検し、必要に応じた休憩などの措置をとってください。
- ③ 借用物品の点検を行い、確実に返納してください。
- ④ 活動についての反省を行い、登山体験が生かせるようにしましょう。